

# 水が語るもの

THE RIVER  
川シリーズ  
木津川  
古代からの  
人々の流れのまちすじ



- 水ものがたり  
世界の川と水インフラ (8) —ミシシッピ川 その3—
- 世界の水 水辺空間を生かした都市再生の事例  
—アメリカ(その1)—
- 水害碑 —淀川本川関連の洪水碑—
- 京都の水文化(その5) 京の風物詩「鴨川納涼床」  
—河川が持つ観水価値—
- 水と文学 幻の棋津京、  
小林一三(逸翁)の街づくり
- みんなの水辺  
明智敷の再生活動を通じた街づくり
- うおーたーねっと  
水都大阪と幻の大阪万国技館(14)
- 排水機場訪問記

操作関係者へ聞く



昭和初期まで淀川で運行していた外輪船

1. 淀川舟運の歴史  
古代から、河口部に設置された難波津を中心に、歴代の大和・河内・摂津の都と海外を結ぶ舟運が栄えていました。また、平安時代や鎌倉時代においては、皇室の行幸、貴族による淀川の往来が盛んに行われていました。江戸時代には、過書船、三十石船、くらわんか船などによって、貴族や権力者だけでなく、一般町人も大坂・伏見間を行き来するようになり

3. 淀川大堰閘門の整備の着手  
淀川大堰の左岸(南岸)に「閘門」を設置することによって、淀川大堰を船が通過することが可能になります。閘門は、淀川大堰によって生じる上下流の水位差を2つのゲートによって調節し、船が通過できるようにする役割を果たします。

4. 淀川舟運のこれから  
淀川沿川には、多くの魅力ある観光資源が存在しています。また、2025年には大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの観光客が大阪・京都を訪れることが予想されます。淀川上下流の舟運分断の解消により防災対策、賑わいづくりを関係機関と連携して推進することで、魅力ある淀川となるよう努めていきます。

## 淀川舟運のこれから

淀川沿川には、多くの魅力ある観光資源が存在しています。また、2025年には大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの観光客が大阪・京都を訪れることが予想されます。淀川上下流の舟運分断の解消により防災対策、賑わいづくりを関係機関と連携して推進することで、魅力ある淀川となるよう努めていきます。



【資料提供：国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所】

淀川大堰閘門完成イメージ図

※この記事については近畿地方整備局HPの発表を参考にしました。



本誌は、近畿の「道の駅」、一部の府県および公共施設などに配布しています。インターネット環境をお持ちの場合は、[https://kyokai-kinki.jp/archives/category/public\\_magazine](https://kyokai-kinki.jp/archives/category/public_magazine) においても最新号とバックナンバーをご覧いただけます。誠に申し訳ございませんが、バックナンバーの配布は行っておりませんので、ご了承ください。

## 編集後記

気候変動が私たちの生活への影響のみならず、災害の頻発をもたらしつつある状況ですが、気候変動を組み込んだ河川の計画として、「淀川水系河川整備計画」の改定作業が行われています。『水が語るもの』今号では淀川の災害の歴史や、淀川の支川の木津川を取り上げました。新型コロナウイルスの大流行により、読者の皆様は大変な不便を被られていることと思いますが、執筆者や読者の方々のご協力により22号を発行することができました。今号より、編集機関として、一般財団法人 近畿地域づくり研究所が加わりました。【担当：益倉 克成、服部 龍雄、鈴木 里奈】

# 水が語るもの

第22号 令和3年7月発行(年2回発行)

発行 一般財団法人近畿建設協会  
〒540-6591  
大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM 13F  
TEL 06-6941-3413 FAX 06-6910-5953  
編集 一般財団法人近畿地域づくり研究所

読面に関するお問い合わせ先  
E-mail (編集担当):  
[masukura-katsushige@kyokai-kinki.or.jp](mailto:masukura-katsushige@kyokai-kinki.or.jp)  
協力 株式会社 近畿地域づくりセンター



この印刷物は再生可能な紙を使用しております。

# 水が語るもの

表紙写真

三重県伊賀市「岩倉峡」



## 目次

3

### 水ものがたり

世界の川と水インフラ(8) -ミシシッピ川 その3-

京都大学名誉教授 いけぶちしゅういち 池淵 周一  
(公財) 河川財団研究フェロー

7

### 川シリーズ

古代からの人とももの流れのみちすじ 木津川

10

### 世界の水

水辺空間を生かした都市再生の事例 -アメリカ(その1) サンフランシスコ-

工学博士 なかの まさひろ 中野 雅弘  
元大阪産業大学教授

12

### 水害碑

淀川本川関連の洪水碑

14

### 京都の水文化(その5)

京の風物詩「鴨川納涼床」～河川が持つ親水価値～

京都産業大学 現代社会学部 教授 すずき みちひさ 鈴木 康久

18

### 水と文学

幻の摂津京、小林一三(逸翁)の街づくり

評論家・文化プロデューサー かわうち あつろう 河内 厚郎

22

### みんなの水辺

明智藪の再生活動を通じた街づくり

福知山環境会議 つちだ しゅうへい 土田 崇平

24

### うおーたーねっと 水都大阪と幻の大阪大国技館(14)

水都の会 城北川プロジェクト 代表 ふじい かおる 藤井 薫

26

### 排水機場訪問記 -操作関係者に聞く-

太閤排水機場

近畿水管理・国土保全研究会 うめだ かずお 梅田 和男

28

### トピックス

淀川大堰の閘門の新設に令和3年度から着手



# 水ものがたり

## 世界の川と水インフラ(8)

—ミシシッピ川その3—

京都大学名誉教授 (公財) 河川財団研究フェロー いけぶちしゅういち 池淵 周一



前号では堤防や遊水地、放水路などの水インフラをとりあげたが、今号ではダムに焦点をあてる。

### 巨大ダム建設と経済成長、環境保全

フーバーダムはF・ルーズベルトがアメリカ大統領に就任した1933年にすでにはじまっていた。大恐慌を克服するためのニューディール政策のモデルとなる公共事業であった。全国の失業者の25%が各地のダム建設現場に動員されたという。1930年代半ばにはコロラド川のフーバーダム、コロンビア川のグランドクーリーダムとボンネビルダム、サクラメント川のシャスタダム、ミズーリ川のフォートベックダムという世界の5大建造物がアメリカ西部で建設中であった。ちなみに1941年完成のフーバーダムの貯水容量は345億トン、グランドクーリーダムのそれは1,035億トンである。その後も農業には安価

な灌漑用水を、鉱工業には大量の電力を供給することを主目的に、それに洪水管理と河川航行の改良を加えた多目的ダムを建設していった。しかも公的資金によるダム建設はその後の大規模公共事業を先導した。安価で大量の灌漑用水の供給は農地の拡大とあいまって大規模機械化農業を生み出し、農業生産を飛躍的に伸ばした。また安価な水力発電エネルギーは鉱工業を進め、多くの工業製品を産出した。巨大多目的ダムによる水資源開発はその高い経済生産性とともにアメリカを世界の経済大国に押し上げた一つの要因である。灌漑用水や電力供給の他に、人口増や生産増に伴う都市用水や工業用水の水需要増にあつてはダムからの水供給が人々の生活水準や経済水準の向上に貢献したことは言うまでもない。

図1はミシシッピ本川、各支川にある主要なダム位置を示したものである。図には、流域導水としてコロラド川からロッキー山脈の直下をいくつもの長距離地下トンネル経由でデンバー都市圏やサウスプラット川、アーカンソー川へ導水する水路、先に述べた閘門堰も付記してある。ミシシッピ本川には29の閘門堰があり、最上流に1917年完成した1号閘門堰はフォードダムとして知名度が高い。自動車王ヘンリー・フォードがこの堰で発電した電力を使いフォードT型モデルを大量生産し、フォード社の繁栄をもたらしたからである。ダムではミズーリ川のギャリソンダム(貯水容量30億トン)、オアヒダム(29億トン)、



図-1 ミシシッピ川本・支川のダム・閘門堰



図-2 テネシー川・カンバーランド川のダム

天然資源の保全と大規模な計画的開発、それを通して経済的救済を図ることを目的に TVA 法を制定、TVA を設立した。そこには水資源の保全政策に多目的開発という手法、洪水多発地帯として知られるテネシー川についての工兵隊の調査など TVA 計画の技術的基礎、またネブラスカ州選出の上院議員 G・ノリスらの電力公営化の主張などがあつたことも大きい。

沈黙の春は農業や合成化学物質による水質汚染に人々の目を向けさせ、環境への悪影響を警告した。社会運動化の走りにもなり、環境保護運動が強くなってきた。政府は 1970 年に国家環境政策法を、1972 年に環境保全庁 (EPA) を設置、環境影響評価制度を制定し

た。水質に関して、1972 年に水質浄法、1974 年には飲料水安全法などを制定した。ダムにあっては下流に届く水が少なくなっており、河川環境への影響が懸念されていた。経済成長と河川環境・水圏生態系の持続可能性を均衡させる方向を見出す展開を模索した。

こうした巨大多目的ダムの建設は 1950 年代から 1970 年代後半にかけて最盛期であったが、その後は減ってきている。そこにはダム建設の適地の枯渇や政府の事業費負担がままならない状況にあったことに加え、水に係わる水質汚染や生態環境への影響、いわゆる河川環境の問題がクローズアップされてきたことがある。1962 年、魚類生物学者のレイチェル・カーソンが著した『沈黙の春』は農業や合成化学物質による水質汚染に人々の目を向けさせ、環境への悪影響を警告した。社会運動化の走りにもなり、環境保護運動が強くなってきた。政府は 1970 年に国家環境政策法を、1972 年に環境保全庁 (EPA) を設置、環境影響評価制度を制定し

ところで、わが国での多目的ダムの建設はどうであろうか。1896 年に制定された河川法では水系一貫した治水計画と事業に重点が置かれ、ダム事業は河道改修事業と一体として整備が進められてきた。農業専用ダムや発電専用ダムも多く建設されているが、多目的ダムの建設は戦後の経済復興やその後の高度経済成長、人々の生活水準の向上を下支えする水資源開発の社会ニーズの高まりとともに進んだ。1961 年制定の水資源開発促進法、1964 年に改正された河川法では治水に加え水資源の開発と利用という利水が大きく盛り込まれたことも拍車を掛けた。

なおアメリカでは内務省開拓局と陸軍省工兵隊の管轄・責務の違いもあつてか、多目的ダムの建設は中西部を中心に灌漑と発電目的をメインに内務省開拓局が、洪水管理と河川航行をメインに陸軍工兵隊が担っているらしいがある。ミズーリ川の 5 大ダムは両者の協力あつての建設であつた。わが国の多目的ダムは治水のための洪水調節目的が大きい。河川堤防とダムによる洪水防御は洪水

現在、TVA はテネシー州やアラバマ州など 7 つの州の約 900 万人に電力を供給している。29 の水力発電ダム、10 の火力発電所、3 つの原子力発電所、9 つの天然ガス発電所が稼働しており、発電量は原子力 34%、火力 32%、天然ガス 11%、水力 9% の電源構成になっている。水力発電は開発の初期からダムの第一義的目的に位置づけられており、安定かつ電力変動に柔軟に対応できる電源として、その機能を發揮し続けている。図-2 はテネシー川 (全長 1,050 km)、カンバーランド川 (全長 1,107 km) にある主要なダムとその位置を示したものである。両河川ともオハイオ川の支川である。

最下流にあるケンタッキーダム (写真) は 1944 年に完成したダ



写真-1 ケンタッキーダム

ダム建設にあつては大規模な水資源開発プロジェクトの実施から、水資源の確保と環境保全に関する施策へと変化し、水と電力の運用効率を増すことよつて資源の利用と管理を改善する方向に舵を切つたようである。内務省開拓局の D・ピラーD 局長が来日し、講演でダムはもうこれ以上必要ではないと発言したのも、こうした施策転換に言及したのであろう。

テリコダムは上流にフォンタナダムがあるリトルテネシー川にあるダムであるが、前述したように建設にあつては絶滅の危機にある小さな魚、スネーク・ダーダーの生息地であることから工事の差し止め訴訟がなされたものの認められず建設されたダムである。テリコダムの湖岸にはアメリカ先住民チェロキー族の歴史を語る要塞が移設されている。



写真-2 フォンタナダム

1933 年、F・ルーズベルトは

**TVA (テネシー川流域開発公社) とダム開発**

アメリカ西部のコロンビア川とその支流では 36 の巨大ダムが建設され、多大の水力発電エネルギーを生み出していたが、同じころミシシッピ川支川オハイオ川のそのまた支川のテネシー川においても TVA 法に基づいて多くのダムが建設されていった。ここで取られた多目的ダム開発、河川総合開発の開発思想はわが国でも北上川総合開発 (KVA) などに生かされたという。

テリコダムは上流にフォンタナダムがあるリトルテネシー川にあるダムであるが、前述したように建設にあつては絶滅の危機にある小さな魚、スネーク・ダーダーの生息地であることから工事の差し止め訴訟がなされたものの認められず建設されたダムである。テリコダムの湖岸にはアメリカ先住民チェロキー族の歴史を語る要塞が移設されている。



【写真提供：国土交通省 水管理・国土保全局HP：日本の川】

### 岩倉峽

木津川上流部は、宇陀川の支川の滝川の赤目四十八滝渓谷や名張川の夢玄峽などの景観に優れた渓谷を有していますが、岩倉峽は上野盆地の直下流にあります。キャンプ場やアスレチック施設のある公園が整備され、巨大な吊り橋から眺める四季折々の渓谷美に優れた行楽地となっています。その反面、岩倉峽は川幅約60m、延長約5kmの狭窄部であるため、洪水の流れが著しく阻害され、その堰上げの影響で上流の上野盆地に洪水被害を及ぼしていました。このため、上野盆地の洪水対策が急がれ、遊水地などが建設されています。

# 川

THE RIVER  
シリーズ

## 木津川

―古代がらの人とももの流れのみちすじ―  
木津川は、源を三重県の布引山地に発し、上野盆地に出て、途中で名張川などを合わせ、京都と大阪の府県境で淀川に流入する流域面積1,596km<sup>2</sup>の淀川の支川です。京都府の笠置付近では上流と下流で河川の様相が大きく異なり、上流部は、主に山間部を屈曲しながら流れています。下流部では広い川幅を有する砂河川になっています。  
ここでは、上流部と下流部に分けて紹介します。

### 木津川上流



【写真提供：国土交通省 近畿地方整備局】 現在の鍵屋の辻の浸水記録表示板



### 伊賀市内の鍵屋の辻

古来より都に隣接する地域として栄え、交通の要衝でもあった伊賀市は、江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町として賑わいました。鍵屋の辻は、歴史上の日本三大仇討の一つとして有名です。伊賀市を含む上野地区では、歴史的にも幾多の水害に見舞われ、その発展が妨げられてきました。特に、戦後最大の昭和28年の13号台風や昭和34年の伊勢湾台風では甚大な被害が発生しています。これらの被害の記憶や経験を継承するために、鍵屋の辻の角の民家に残されていた浸水記録を引き継ぎ、現在は浸水記録表示板が設置されています。

洪水の浸水位と浸水状況とを合わせ、伊賀市の「あんしん・防災ネット」に接続できるQRコードを入れた近代的な表示板になっています。

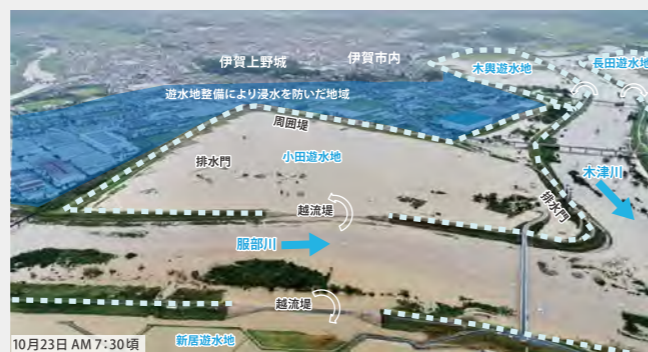
※日本三大仇討  
渡辺数馬と荒木又右衛門が仇討ちを果たした江戸時代の鍵屋の辻と、忠臣蔵、曾我兄弟の仇討を指し、小説、講談、さらには映画等にも広くとりあげられ有名になりました。

### 源流地域の風力発電の風車

木津川源流の青山高原の笠取山は、若狭湾から伊勢湾に抜ける「風の道」に位置し、旅人の笠が吹き取られるといわれるほどの本州有数の強風地帯です。この特性を生かして、国内最大級の風力発電所が設置されています。合計60



基の風車が設置され、壮観な景色を作り出しています。2017年に運転が開始され、現在、総発電出力95,000kwで、これは一般家庭約55,000軒に相当します。室生赤目国定公園の自然景観に配慮し、周辺地域との共存を図りながら運転されています。また、ここからの東側の伊勢湾方面の眺望にも優れています。



平成29年台風21号【写真提供：木津川上流河川事務所】

### 上野遊水地

伊賀市が位置する上野盆地は、地理的に木津川本川と支川の柘植川、服部川の合流により、それぞれの河川の洪水のピークが重なり、さらにその下流に狭窄部の岩倉峽を抱えているため、たびたびの洪水被害に苦しんでいました。この抜本的な対策として、河川改修を組み込んだ遊水地事業と上流の川上ダム建設を組み合わせた治水計画が策定され、昭和44年から遊水地事業が開始されました。この遊水地事業は、平時においては、遊水地内を田畑として利用し、土地の有効利用を図る地役権補償方式で行われ、平成27年に完成しました。遊水地の周辺を堤防で囲い、洪水時には切り下げた堤防の一部からの洪水の越流により河川の流量を減少させ、周辺の洪水を防止するものです。平成29年台風21号による洪水ではその効果を発揮し、河川の氾濫による家屋などの浸水を防止しました。

### 名張市のかわまちづくり

名張市は木津川の支川の名張川の高山ダムの上流にあり、日本書紀にも「隠」として登場する歴史のある町です。古くから、奈良から伊勢神宮への参拝路の初瀬街道の中心地として栄えてきました。現在、洪水時の治水対策の河川改修と川を活かした地域づくりの取り組みを一体化した「名張かわまちづくり一体型治水対策事業」が実施されています。



【写真提供：木津川上流河川事務所HP】

I期引堤区間  
(河道掘削含む)  
L=約1,000m

ノックスビルの街にはTVA本部がある。フォンタナダムは、1942年から44年にかけて作られたダムでロッキー山脈から東にあるダムの中で最大の堤高150mをもつ重力式コンクリートダムである。堤長は727m、3基の発電機で総発電量24万kwを生み出している。ノリスダムをはじめリトルテネシー川のダム群はその水力発電によるエネルギー供給により軍需物資(アルミ、製鉄、硫黄)を増産、軍需産業を支えた。

フォンタナダムからアラチャ山脈で一番高い地点、クリングマンズ・ドーム(標高2,200m)が見渡せる。アラチャ山脈の山麓にはグレートスモーキー国立公園が広がっている。フォンタナダムの右岸側の北半分はこのグレートスモーキー国立公園に含まれる。アメリカの国立公園はルーズベルトのニューデール政策の一環として森林保安隊の創設が引き金となり、自然保護と利用の葛藤を経てその後、国立公園法が制定され、いくつかの国立公園が設置され、森林保全局が管理している。世界最初の国立公園として有名なイエロー

ストーンやヨセミテは米国西部にあるが、設置が遅れたものの東部アラチャ地域にあるのが、このグレートスモーキー国立公園である。最近、山林火災があったが、自然保護エリアが広大で、多くの鳥や植物が生息している。自然散策のコースが多く設けられており、ビジターセンターなど環境学習の場も整えられている。

一方、オハイオ川の大きな左支川にカンバーランド川がある。カンバーランド川及び支川にもいくつかのダムがあり、大きな貯水池が形成されている。洪水調節を主目的に発電目的を付加していることもあって、事業主体は工兵隊である。最後にケンタッキーダムに隣接するパークレダムがある。最上流にあるウルフ・クリークダムは1951年に完成したダムで、堤高79m、堤長1,748m、貯水容量7.51億トンである。ダムの構造は洪水調節と発電目的の中心部500mが重力式コンクリート、両サイドには合わせて1,200mのアースフィル形式が連結されている。カーस्ट地形上に作られたダムとあって、1968年にダムの漏水問題が発見

され、緊急対策として地下にある多くの洞窟や横穴にコンクリートなどを充填したり、アースフィル部分の貯水池前面に数メートルおきにコンクリート心柱を深くまで打ち込み、コンクリート擁壁をつくるなどの対応をしている。カルスト地形上に作られたデル・ホロウダムでも同様の漏水対策工が施されていた。

1976年、水系は違うがスネーク川上流に作られたテイトンダムが決壊した。堤高90m、基底幅520mのアースフィルダムで、基礎とダムの接合部が水漏れしやすかったとの原因説もあり、これらのダムでも漏水対策が慎重に検討されていた。ケンタッキー州のカルスト地形は世界でも最大規模の大きさともいわれおり、実際、地表面にも多くの凹み穴が見られ、その地下部分には大規模な地下洞窟が発達している。博物館を併設し、これら洞窟や地下河川が探検や観光クルーズとして活用され賑わっている。その他、ウルフクリークダムに隣接する国の野生生物保護局の管理している養殖場では放流マス類が育成されていたり、TVAの発電所の敷地内には淡水二枚貝の

保全のため養殖所などがある。多くのダムを巡ってきたが、共通していることはダム湖周辺の環境整備と背後に国立や州立の公園や地方自治体の自然保護区が広がり、ダムと人造湖という造営物が自然の中に佇み、すぐれた景観を醸し出している。貯水位の変動が少なく、貯水池の長さや広がりが大きく、ダム湖岸に覆いかぶさるように木々が生い茂り、ダム湖にはヨットやモーターボートの艇庫が多くあり、また栈橋や車で牽引してきたモーターボートの湖面への乗り入れ口まで作られている。魚釣りやモーターボートの疾走に興じている。周辺には駐車場やキャンプ場も整備され、散策を楽しみ、いくつかのトレイルコースを歩いて汗を流している。専門のスタッフが説明、ガイドするダム資料館、地形・地質の自然史や生息する動植物などの資料・展示もあるビジターセンター、これらの充実がダムを巡り、また環境学習の場を提供している。こうしたダムやダム湖、周辺環境の整備が一体となって、この地が人々の癒しや観光、レジャーの宝庫にもなっていることを実感する。

参考文献 『ミシシッピーに行く』 森下郁子・池淵周一 監修 森下依理子 著 遊タイム出版 2020年

# ロマンあふれる木津川の上流域とダム群

独立行政法人 水資源機構 関西・吉野川支社

**2. 水でつながる地域と地域**

関西では、戦後の経済拡大に伴う水不足に対応しつつ、昭和28年他の諸洪水の経験を踏まえ、先人達の努力の下、河川改修と併せて近代的な治水整備が営々と進められてきました。その中で花崗岩を主とする堅硬な地質がある木津川上流部には、水

**1. 畿内と強く結びついてきた地域**

木津川の上流域である伊賀、宇陀、相楽、山辺の地域と畿内の関係は古く、歴史の黎明期である神武東遷神話においては、熊野に上陸した神武天皇が苦心の末、木津川の最上流にある宇陀に至り、そこから大和平定に出発したとされています。また、飛鳥、藤原京の時代にあつては伊勢神宮や東国への玄関口であった安濃津（現在の津市）と大和盆地を結ぶ主要街道を人や物資が行き交っていました。伊賀では奈良時代に東大寺の寺領（黒田荘・現在の名張市黒田）等が材木の生産地となり、現在の木津川市周辺にあつたとされる河港にて集積された後、奈良の都に運ばれていたようです。さらに時代が下り、戦国から江戸期、さらに現代にかけて伊賀や柳生といった地域名は日本中、いや世界中に知られることとなりました。



水資源機構が管理する木津川5ダムと令和4年度に完成予定の川上ダム

現在、伊賀青山の地で令和4年度に建設完了の予定で川上ダムの建設が進められており、さらなる治水や水の安定供給の能力向上につながり、関西を支える大きな力となることが期待されています。また、多くの方々がこの地域を訪れ、歴史・文化、木津

**3. 淀川の治水対策の要となる地域**

特にこの数年、日本の各地で記録的な洪水災害が頻発し、ダムの効用的な治水対策の要となる地域

資源機構による1969年完成の高山ダムを始め、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダムの他、上津ダム、宮奥ダム、須川ダム等や、現在建設が最終段階となっている川上ダムと

**4. この地域の未来に向けて**

や運用に対する注目が高まりました。木津川は淀川流域の主要な3つの支川では宇治川に次いで流域面積では2番目ですが、琵琶湖を有する宇治川の流出は遅れて発生するため、淀川本川へは、木津川からの流量がかなりの影響を及ぼしています。その木津川にあるダム群では、かねてからダムをより有効活用するため



コンクリート打設完了時の状況



コンクリート打設を終えた川上ダム

※この地域の見所とダムの情報：水資源機構 HP をご覧ください  
<https://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/information/pamphlet.htm>  
[https://www.water.go.jp/honsya/honsya/pamphlet/kouhoushi/2019/pdf/2019\\_01-02\\_07.pdf](https://www.water.go.jp/honsya/honsya/pamphlet/kouhoushi/2019/pdf/2019_01-02_07.pdf)



添御願所神社そばの歌姫越え



相楽発電所に設置された閘門の跡

## 木津川舟運と歌姫越え

木津川は古代から昭和初期まで、物流の幹線として大きな役割を果たしていました。古代には、近江の田上山などの木材が宇治川を經由して木津川を遡り、藤原京や平城京に運搬されていました。これが木津川の名前の由来になっています。奈良時代以前には、木津川市の上津が都の外港として活躍し、ここから歌姫越えを通じて都に運ばれていました。現在は落ち着いた道路となっている歌姫越えですが、往時をしのばせる佇まいも残っています。



「淀川通航終点」の碑（伊賀市）

近世には沿川の村に船着き場（浜）が設けられ、年貢米や農産物の搬出、町から来る物品などの受け入れに使われていました。しかし、その後の陸上運輸の発展により、最後まで残っていた渡し船も1953（昭和28）年に廃止され、舟運の役目を終えています。

【参考文献：川と人々の暮らし 城陽市歴史民俗資料館 平成28年度夏季企画展】

## 木津川下流

### 不動川砂防公園と大正池ダム



不動川砂防公園内のデ・レーケ像と背後の砂防堰堤



大正池ダム

不動川を始めとする木津川右岸の木津川市から井手町に至る支川の流域は、風化花崗岩の崩れやすい地盤で構成され、土砂の流出が著しく、明治時代から近代的な砂防工法が実施されていました。不動川上流には、1873（明治6）年に来日したオランダ技術者のデ・レーケの指導により、数多くの石積みの砂防堰堤が築かれました。不動川砂防公園は、近代砂防技術の発祥の地として整備され、砂防堰堤8基が京都府指定の文化財となっています。また、この近くには、1953（昭和28）年の南山城水害で決壊した大正池を修復したコンクリート造りの灌漑ため池である大正池ダムも存在しています。

### コラム 聖牛と竹製蛇籠の設置



製作中の竹製蛇籠



設置された聖牛と竹製蛇籠

木津川下流部は、低水時に河床の砂の上を自由に流れる砂河川が特徴ですが、近年は上流からの砂の供給量が減少し、河床の低下や流路の固定化により、自然の機能が低下する恐れがありました。これを改善するために、国土交通省淀川河川事務所と、地元の住民団体などとの連携により、日本の伝統的な河川工法である竹蛇籠や中聖牛などを設置し、河川の多様化を図ることで生物に適した生息環境を確保する取組みを試行しています。

※蛇籠：竹や針金で円筒形のかごを編み、内部に石材を充填して河川工事に使うものです。  
 ※聖牛：丸太を三角錐や四角錐の形に組み上げ、足の部分におもしとなる蛇籠を置き、川底へと固定するもので、洪水時の川の勢いを弱めるために設置されるものです。

【写真提供：淀川河川事務所】

### 古代の都の道と蟹満寺

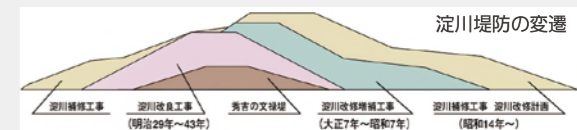


古代、木津川の右岸（東岸）の一帯は奈良から北の宇治や京都に通じる主要な交通路であり、奈良時代の741（天平13）年から744（天平16）年にはこの地域の上流に恭仁京が置かれていました。このため、この地域には古代からの多くの寺院が存在し、「南山城三十三所」として知られています。これらの寺院群の一つ、飛鳥時代に創立された蟹満寺は、「今昔物語」の蟹の恩返しの説話で有名で、本尊は飛鳥時代後期の国宝である釈迦如来坐像です。かつての本尊は観音像で、この地域では多くの寺院が由緒ある観音像を本尊としており、観音霊場にもなっています。

【参考文献：探訪古代の道 第二巻 都からのみち：上田正昭編】

### 木津川下流部の堤防断面

日本の堤防のほとんどは土を高く積み上げ、固めてつくられています。その理由には、土が入りやすく経済的であること、災害時の水防や復旧において対応しやすいことなどが挙げられます。有史以来の長い歴史の中で、堤防は度々の洪水により被害を受け、その都度、より高く、より大きく改良されてきました。このため、堤防内部の構造が分かりにくくなっていることが多いのですが、木津川下流部の京都府井手町付近の工事に伴い、堤防の断面が公開され、砂でできていることが確認されています。この区間では、洪水に備え、引き続き堤防の補強工事が実施されています。これとは別の地点の淀川本川でも、秀吉の文禄堤を基盤として何回も土砂だけで積み上げられていることが確認されました。



淀川堤防の変遷

# 世界の水

## 水辺空間を生かした都市再生の事例 ーアメリカ(その1)ー サンフランシスコ

工学博士・元大阪産業大学教授  
なかの まさひろ  
中野 雅弘



### はじめに

前回まではヨーロッパ各地の「水辺空間」の事例を紹介しましたが、今回は太平洋を挟んで日本の東側にあるアメリカ(米国)の事例です。ご存じと思いますが、アメリカは「欧米」と言われるように、ヨーロッパの新大陸発見を契機として各国から移住した人々が作った国であり、その関係は深いと思います。ヨーロッパは民族や宗教の異なった人々が国家を形成した多様性を感じる地域ですが、アメリカはヨーロッパのみならず世界中の各国から人々が集まって出来た「多民族国家」です。



このような背景から、ヨーロッパと事例は異なりますが、同じように自然を守り、特に水辺空間を活かした「人に優しい」空間づくりについて学ぶ点は少なくありません。今回はそのアメリカの中で、歴史的にアジアからの玄関口であるサンフランシスコの事例について幾つかご紹介いたします。

### 1. サンフランシスコを代表する交通インフラ、ゴールデン・ゲート・ブリッジ

サンフランシスコのシンボリックな存在であるゴールデン・ゲート・ブリッジは半島部の北端にあり、アメリカ西海岸のサンフランシスコ湾と太平洋が接続するゴールデンゲート海峡に架かる吊橋です。主塔の間の長さ(中央径間、支間)が1,280m、全長2,737m、主塔の高さは水面から227mです。この橋は米国土木学会(ASCE)により、パナマ運河や英仏海峡トンネルと並ぶ20世紀の10大プロジェクト(長大橋部門)に選定されました。



海沿いのマリナー地区から



霧にかすむ橋



自転車(レンタル)ルートの地図



展示されている橋の模型



海沿いの歩道と自転車



晴天時の橋

交通施設として車両用道路6車線、両端に自転車用と歩行者用それぞれの歩道が設けられています。橋はサンフランシスコの北西部にあり、都心部からバス(ミュニバス)

で簡単に行けます。橋の付け根には、造成された公園としては世界一のゴールデン・ゲート・パークがあり、水辺と緑にあふれた、市民に愛される場所です。

### 2. 漁港から一大観光地となったフィッシャーマンズ・ワーフ

「漁師の波止場」の名の通り、この周辺は19世紀半ばのゴールドラッシュでサンフランシスコが大きな町になった時からの漁港で、様々な漁船が多数停泊し、獲れたばかりの魚やエビ・カニ類を水揚げする場所でありました。現在は遊びの要素も凝縮された一大観光地になり、それぞれの時季の海産物(カニ、エビなど)を味わえる店が並んでいます。



フィッシャーマンズ・ワーフ地区の中心部



眺望にアルカトラズ島(旧刑務所)を望む



海沿いの遊歩道

この地区へは公共の交通機関でのアクセスが一般的であり、路面電車(Fライン)やケーブルカーの利用が便利です。この路面電車は「ヒストリックストリートカー」と呼ばれ、世界中から集められた1890年から1950年代の車両を修理し、運行しています。この路面電車は1980年代に一時廃止されましたが、市民の要望により復活し、現在では観光にも役立っています。路面電車に乗り、右側にいくつかの倉庫街(店舗などに活用)やピア(埠頭)を見ながらしばらく進むと、「ピア39」にフィッシャーマンズ・

### 3. 急坂の多い町から生まれたケーブルカー

1873年に開業したケーブルカーは世界最古の手動運転の循環式ケーブルカーであり、今なお現役で、サンフランシスコ市の公共交通網の一部を構成しています。1906年のサンフランシスコ大地震のあと一時衰退しましたが、その後の復活運動で全面改修が行われ、現在、ケーブルカーの乗り場は朝夕の通勤客や観光客でにぎわっています。



ワイヤーに動力を与える滑車



坂道を走る路面電車



これからの移動手段セグウェイの講習

「人に優しいまちづくり」の実現で賑わいがもたらされ、サンフランシスコは世界中から観光客が訪れる魅力的な町となっています。

### さいごに

アメリカの都市は近代的なまちづくりが多いと思われがちですが、サンフランシスコは、古いものと近代的なものとの調和がうまくとれた町です。1930年代に半島の都心部と周辺部をいくつかの長大橋で結び、発展を遂げました。ここでは交通インフラや水辺の整備などを紹介しましたが、車社会といわれるアメリカにおいて「サンフランシスコは歩きやすい街」と評されています。

ここで紹介した「路面電車」の復活や「ケーブルカー」の整備に加えて、郊外に延びる「BART」(地下鉄)が建設され、分かりやすい市内バス網の「ミニバス」、「自転車道」、水辺に沿った歩きやすい遊歩道などの交通インフラ体系が整備されてきました。さらにこのような交通体系と水辺空間との一体的な都市整備によ

## 大正6年の大塚切れ

明治18年の洪水被害を受けて、淀川の放水路としての新淀川（現 淀川本川）の開削を含む「淀川改良工事」が実施され、淀川本川の洪水は大幅に減少しましたが、それ以降で、本川の堤防が決壊した唯一のものがこの大塚切れです。大正6(1917)年9月末の低気圧による豪雨により、淀川右岸の支川の芥川が決壊し、その後、本川右岸の大塚堤防が200mに亘って決壊しました。最下流部の西成郡（現 大阪市西淀川区）まで氾濫水が達し、この地点で下流部の洪水の排水のために「わざと切れ」が行われています。被害は、死傷者40人、被害戸数約1万5千に上りました。

大塚切れの浸水域



【資料提供：淀川河川事務所】



### 大塚切れ洪水碑（わざと切れ）

洪水の浸水を排水するために、いくつかの堤防を切ったうちの1か所、大阪市西淀川区の堤防上に「淀川100年記念事業」として昭和49年に建立されました。

### 洪水記念碑（大塚切れ）と「淀川大塚切れ100年シンポジウム」・「淀川サミット」

大塚切れの洪水記念碑は昭和5年に堤防決壊地点に設置され、その後、高槻市大塚町の現在地に移設されました。被害状況、復旧工事、被災者への救援などが記されており、また、災害への将来の戒めとして、「居安勿忘危（安にいて危を忘れる勿かれ）」と刻まれています。

この碑の戒めを後世に伝えるために、大塚切れの洪水の100周年に当たる平成29年に、高槻市の主催で市民向けの「淀川大塚切れ100年シンポジウム」が開催され、「淀川流域の治水と地域の未来を考える」をテーマに市民向けの啓発活動が行われました。同時に、流域の市長他の参加による「淀川サミット」が開催され、過去の水害の歴史と教訓を後世へ伝承し、流域が一体となって治水に取り組むなどの「淀川宣言」が採択されました。

その後も高槻市職員の方々によって、水害から市民の生命・財産を守るための努力を継続する決意を再確認することを目的として、「大塚切れ伝承式」が毎年開催されています。



淀川サミットの参加者と洪水記念碑



大塚切れ伝承式  
【写真提供：高槻市】

※大塚切れの被害の原因や詳細については、『水が語るもの』（1・2号及び8～12号）の宮井宏博士の記事をご参照ください。

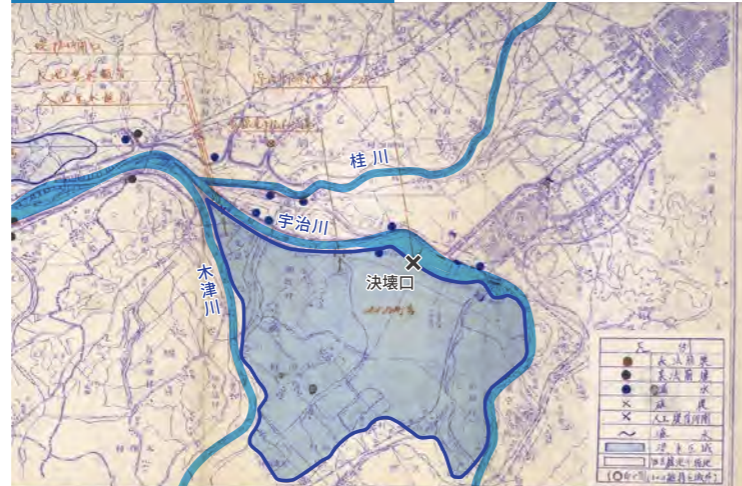
## 昭和28年洪水（旧巨椋池の浸水）

昭和28(1953)年9月の台風13号による近畿一円の豪雨により、淀川流域の各地で浸水被害が発生しましたが、最も厳しかったものは、宇治川左岸の観月橋下流2kmの堤防が450mに亘って破堤し、旧巨椋池の低地に流入した洪水です。決壊口からは、淀川本川の水も逆流して宇治川に流入したため、付近の水位は低下し、結果として更なる決壊は免れました。旧巨椋池干拓地とその周辺の2,880haが25日間にわたって水浸しになり、かつてここに存在した巨椋池を再現したといわれています。



### 大池神社境内の巨椋池の碑

昭和28年洪水の旧巨椋池干拓地の浸水



【資料提供：淀川河川事務所】※提供資料に説明追加

昭和28年の堤防決壊については、決壊地点に水害碑はありませんが、浸水した地域内には、4か所の浸水水位の表示が確認されています。久御山町東一口の大池神社境内の碑を紹介します。

大池神社は、昭和11年に旧巨椋池での漁業従事者により建立された神社で、この境内に「巨椋池」の碑があります。巨椋池土地改良区によって設置され、旧巨椋池とその干拓の歴史とともに、昭和28年の洪水の状況が記され、この碑の上端が当時の浸水位と示されています。

※旧巨椋池の洪水については、『水が語るもの』（17・18号）の宮井宏博士の記事をご参照ください。

【参考文献】「淀くんの淀川石碑物語」淀川資料館、「二八年大水害—堤防が切れたら—」巨椋池土地改良区（2015年）  
「大阪府における明治18年「伊加賀切れ」に関する記念碑について」木谷幹一 京都歴史災害研究第20号（2019年）

# 水害碑

— 淀川本川関連の洪水碑 —

「淀川百年史」によると、「淀川の洪水記録は、推古天皇（601年）以来200余回のぼり4〜5年に1回の洪水が沿岸を襲ったことになる。」と記述されるように頻りに洪水が発生していった。明治時代では、明治元年、18年など6度の大きな洪水が「淀川百年史」に記述されています。その後の「淀川改良工事」による新淀川（現在の淀川本川）の開削などにより、洪水の安全度が大きく向上し、それ以降の淀川下流の本川の破堤は、大正6（1917）年に右岸（北岸）の高槻市での「大塚切れ」と呼ばれる決壊だけになりました。その他には、昭和28年に上流の支川の宇治川左岸の堤防が決壊し、巨椋池干拓地が大きく浸水したものがあります。これらの大洪水に関して数多くの洪水碑が設置され、将来に向けて洪水の危険性を伝承していますので、これらを紹介します。

## 明治18年の洪水の水害碑

明治18(1885)年6月に大阪付近を襲った2つの低気圧と、その後の降雨による洪水です。最初の低気圧によって、旧三矢村（現 枚方市）の淀川左岸の伊加賀堤防が決壊し、幅14.5mに達した決壊口からの流水によって、浸水が大阪市に達し全堤防が決壊の危機にさらされました。このため、氾濫水を本川に戻すために下流の旧野田村（現 大阪市都島区）の堤防を切開して淀川に放流させました（俗称「わざと切れ」）。しかし、6月末の再度の暴風雨により、堰止め工事が完成していなかった伊加賀堤防が再び決壊し、支川の決壊からの侵入水と相まって、南の大和川北岸まで浸水が達し、かつての河内湖を再現するような一大湖水が発生しました。

この2度の洪水により、大阪市街では計340町が浸水し、大坂城につながる上町台地を除くほとんどの低地が水害を受け、被災人口が約28万人に達するという、明治以降では最大の被害となりました。

大洪水であったため、大阪府内には35か所もの洪水碑が建立されたことが報告されています。ここでは代表的な2か所を紹介します。



明治18年洪水の浸水



### 淀河洪水記念碑銘

明治18年の洪水の1年後、氾濫水の排水のために「わざと切れ」が行われた大阪市都島区（旧野田村）の桜宮神社内に建立されました。最初の洪水の排水のためでしたが、その後の洪水でこの地点が決壊し、惨状を呈しました。碑文には、被害状況や被災者の救助の様子に加え、この地点で「わざと切れ」が過去に3回あり、堤防破壊の影響が記されています。原文は漢文ですが、災害の教訓として「後世、淀川の水害に対処する者は今回の教訓を胸に刻んで戒めなければならない」と、経験を生かすべきことが示されています。

※明治18年の水害の原因や詳細などについては、『水が語るもの』（6・7号）の宮井宏博士の記事をご参照ください。

明治18年の洪水で浸水した地域



### 明治十八年洪水碑

同じく洪水の1年後の明治19年に堤防の決壊地点に建立されましたが、その後の堤防工事や道路工事に伴い、現在の京阪電鉄枚方公園駅に近い淀川の堤防上に移築されました。碑文には、被害や復旧工事の状況に加え「傷害人民流亡家屋水反有甚於火者也（人民を傷つけたり家屋を消滅させるのは、水の方がかえって火よりも甚大なところがある）」と水害の恐ろしさを後世に伝える言葉が刻まれています。

【資料提供：国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所】  
※提供資料に説明追加







図-7 四条河原夕涼之跡『都名所図会（巻之二）』（1780年）  
（国際日本文化研究センター蔵）

どの小屋が建ち並び、芝居、猿の狂言、犬の相撲、曲馬、曲枕、麒麟の綱渡り、のぞきからくりなどを楽しむ他、香煎や田楽豆腐、スイカなど売る店なども多く、歩く場所もない

の六月初七日の神事祇園會に「凡自今夜至十八日夜四條河原水陸不漏寸地並床設席而良殿般樂。東西ノ茶屋張桃燈設行燈恰如白晝。是謂涼」とある。重要なことは、祇園會の「神事」として始まったことである。その理由について言及されることは少ない。仮説として、祇園社（八坂神社）神輿を見る（迎える）ために始まり、その行為が6月7日から神輿の戻る6月18日（旧暦）までの間、鴨川の夜を涼むことができる緑目的な場になったのではないだろうか。



図-5 冬の三条大橋から見た納涼床  
（絵葉書：明治33年～39年）



図-6 三段形式となっている床【京都加茂川 四條磯】  
（絵葉書：大正7年～昭和7年）

瓜等の商人、よもすがら箒をたく。人の群集うたひどよめく事、野陣の夜に相似たり」とある。同時期に黒川道祐が記した『日次記事』（1676年）

1800年以降に描かれた絵画を見ると、中州の小屋は1700年代と比較して減少している。応挙に学んだ山口素絢は中州の西瓜などの物売りや床などを描いているが、小屋などが立ち並んでいるようには見えない。清瀾が描く中州も屋根のある小屋は数軒だけ、江戸末期の西村芳園の作品に至っては、人の姿だけで床すら描かれていない。馬琴が京都の人々は弁当持参で納涼床を楽しむ、茶屋を利用するのは旅行者や祇園で遊ぶ人だけと記しており、楽しみ方が変わってきたと思われる。

1700年以降については、『洛陽勝覧』の1734（享保19）年の記述に「河原に道筋をわけ、川へ床を掛、料理茶屋、水茶屋有、其他芝居、浄瑠璃、辻能、狂言人、水からくり、手つま、諸国珍物を見せ物にする事、その数をしらす」とあることから見せ物の種類も増え、賑わっている様子がわかる。鴨川沿いの石垣町、川端、縄手裏、先斗町、西石垣町も雨天に関係なく床を行っているという、固定式の屋根のある低床もあつたと思われる。1750年頃の変化は、本居宣長の『在京日記』の1756（宝暦6）年に記述がある6月から7月の2ヶ月間に渡って納涼床を楽しむ「あと涼み」の出現である。その情景を描いた『都名所図会（巻之二）』の絵図（図-7）は、西側から四条河原を見た図で、白川から下流が描かれている。右岸には、張り出した低床形式の屋根のある同じ形状の床が並び、川辺には床が所せましと置かれている。中州には形状が異なる、茶屋や見世物な

床。三条大橋の高欄を写した冬季の絵葉書（図-5）では、右岸上流に中州が無くなったことで新たに整備された屋根のある高床が並ぶ。十数年が経過した「京都加茂川 四條磯」と書かれた絵葉書（図-6）では、床の位置が三段になっていることに気がつく。一番下は川面に床が置かれている。次の河川敷に仮設のテントのような屋根を持つ床、三段目は、現在と同じ高床形式の床である。この頃においては、幾つかの形態で納涼床がされていたことがわかる。京昆布本舗ぎぼしの四代目の上田敬治氏が「昭和2年か3年の頃、父に連れられて三条大橋の下の床几で食事

を楽しんだ。料理は旅館から運ばれていたように思う。床几は5〜6席で、他に床几で夕涼みを楽しめる場所はなかった」と話されるように、三条大橋の下で納涼床が行われている絵葉書もある。これらの高床式の床の歴史は明治になってからで、僅か100年程の間である。鴨川納涼床の始まりは1650年頃とされており、文献での初見は中川喜雲が1662（寛文2）年に記した『案内者』である。6月7日の祇園會の条に「その夜より四うがはらには、三でうをかぎりに茶屋の床あり。京都のしょにん毎夜すゞみにいづる。飴うり・あぶりどうふ・真瓜等の商人、よもすがら箒をたく。人の群集うたひどよめく事、野陣の夜に相似たり」とある。同時期に黒川道祐が記した『日次記事』（1676年）

の六月初七日の神事祇園會に「凡自今夜至十八日夜四條河原水陸不漏寸地並床設席而良殿般樂。東西ノ茶屋張桃燈設行燈恰如白晝。是謂涼」とある。重要なことは、祇園會の「神事」として始まったことである。その理由について言及されることは少ない。仮説として、祇園社（八坂神社）神輿を見る（迎える）ために始まり、その行為が6月7日から神輿の戻る6月18日（旧暦）までの間、鴨川の夜を涼むことができる緑目的な場になったのではないだろうか。

いるが、芝居小屋は見当たらない。提灯や行燈から夜の情景と推察できる。1700年以降については、『洛陽勝覧』の1734（享保19）年の記述に「河原に道筋をわけ、川へ床を掛、料理茶屋、水茶屋有、其他芝居、浄瑠璃、辻能、狂言人、水からくり、手つま、諸国珍物を見せ物にする事、その数をしらす」とあることから見せ物の種類も増え、賑わっている様子がわかる。鴨川沿いの石垣町、川端、縄手裏、先斗町、西石垣町も雨天に関係なく床を行っているという、固定式の屋根のある低床もあつたと思われる。1750年頃の変化は、本居宣長の『在京日記』の1756（宝暦6）年に記述がある6月から7月の2ヶ月間に渡って納涼床を楽しむ「あと涼み」の出現である。その情景を描いた『都名所図会（巻之二）』の絵図（図-7）は、西側から四条河原を見た図で、白川から下流が描かれている。右岸には、張り出した低床形式の屋根のある同じ形状の床が並び、川辺には床が所せましと置かれている。中州には形状が異なる、茶屋や見世物な

# 幻の摂津京、 小林一三 (逸翁) の街づくり

評論家・文化プロデューサー

かわうち あつろう  
河内厚郎



昆陽池【写真提供：伊丹市】



辻の碑【写真提供：伊丹市教育委員会】

京の管理も兼ねた。旧畿内の国々の中でも開放的な風土を持っていたのが摂津国である。  
現在、その中央部は大阪空港のある伊丹市に当たる。摂津国の中心部を表す「辻の碑」(伊丹市北伊丹1丁目89)が、西国街道と多田街道の交差する辻に建てられており、表面の銘文は長年の風雨により摩滅し、山城の国からの距離を表す「従東寺拾里」のほかは読みとれないが、記録によれば、この地は旧摂津国のそれぞれの国境からほぼ等距離(七里、つまり「摂津のへそ」の位置にあったことを示している。

## 幻の摂津京

伊丹市庁舎のあたりから周囲を見晴らすと、北摂・長尾山系の山々が屏風のように北にそびえ、そこから流れ落ちてくる武庫川と猪名川が南進して大阪湾に注ぐ。西は六甲山系、東は千里丘陵にはさまれ、ほぼ

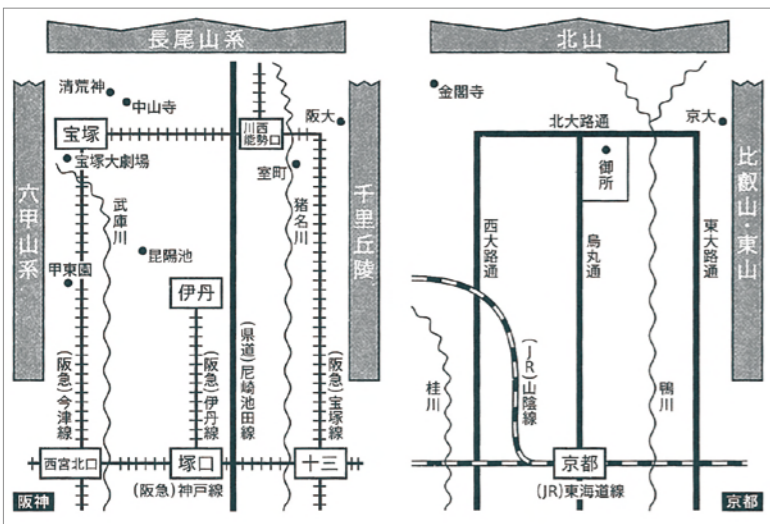
三方を高地に囲まれているのは、どこか京都盆地に似る。  
帝都を意味する「京」という漢字

を分解すると、「一」は北方の山、「小」は南方へ川の流れる様を表し、中心部の「口」は御所またはそれを核に広がる市街地となるが、平安遷都の折の「此国山河襟帯、自然に城を作す」と詔にある通り、平安京の置かれた京都盆地はまさにそうだが、伊丹の昆陽池を中心に据えた地形も「京」に近いことが、伊丹市庁舎の屋上から四界を眺めると実感できよう。この阪急の宝塚線・今津線・神戸線に挟まれた地(阪急平野とも呼ばれる)は、現在の大坂府下の池田・豊中・箕面、兵庫県下の宝塚・尼崎・西宮・川西にまたがる地域で、府県を越えたひとつの都市圏とみなすことが出来る。

阪急グループの創始者、小林一三(1873~1957)は平安京にな



阪急電鉄 第3代社長 小林一三 (1935年頃)  
【写真提供：阪急文化財団】



イラストマップ：半田優子

摂津京と京都の比較図

【参考文献：『阪神間 近代文学論 柔らかい個人主義の系譜』河内厚郎 関西学院大学出版会 2015年】

らい、「幻の摂津京」を想定して街をつくっていったのではあるまいか、そんな気がしてくる。平安末期の福原遷都の折、摂津国の中央部に当たる平野部、現在の伊丹を中心とした昆陽野に遷都したほうがよいとの意見が公家から出された。そうやっていけば「摂津京」が実現していたかもしれない(狭山池に次いで2番目に古い溜池、昆陽池が僧の行基により築造されるなど、この地は昆陽野と呼ばれた奈良時代から条里制が敷

かれるなど開発が進んでいた)。もし摂津京が出来ていたなら、尼崎の塚口あたりは中京、能勢電車の沿線などは洛北となり、この中央部を貫通し、柿衛文庫やピッコロシアター、アルカイックホールなどの文化施設が並ぶ幹線道路こそは、朱雀大路となるべき道であったことになる。西宮北口と西京極には西宮球場と西京極球場、ともに阪急グループ(現オリックス・パフアローズ)のスタジアムがあったのも偶然と思

えぬ気がしてくる。(都市空間としての「阪神間」研究の創設者である水谷顕介(1935~1993)は、しばしば京都と阪神間の共通性を指摘していた)  
そして、この地の北東、能勢から妙見にかけては、平安京を守る比叡山に見立てることも出来る。そして、京都大学が洛東の吉田山にあるように、摂津京の東の山麓、待兼山には大阪大学が移ってくる。さらに小林一三は、摂津京の西の山麓に関西学院など私学を誘致して、キリスト教伝道家にしてすぐれた建築家であったウィリアム・メリル・ヴォーリズの設計による美しいキャンパス街を、六甲山系の山々を背につくっていった。(西宮市の夙川地区には、ヴォーリズ設計の家が多いことから、「ヴォーリズ村」と呼ばれる住宅街もある)

そんな摂津京のなかでも、京都から「北山」の位置に当たるのは宝塚だった。

## 逸翁の見果てぬ夢

ここでさらに想像を膨らませてみたい。



逸翁美術館【写真提供：阪急文化財団】

京都盆地と摂津平野は「水」に恵まれていた点でも共通している。前者は伏見、後者は池田や伊丹、灘五郷などが名水に恵まれ、名だたる酒処となった。

小林一三（号は逸翁）は若い頃、文士を志した。実際に小説も書き、自身が池田市民であったことから「池田畑雄」の名で少女歌劇の台本を書いた時期もある。（小林のコレクションは池田の逸翁美術館に収められている）

しかし結局は、近代日本にふさわしい町づくりを自己の芸術品としたのであった。



宝塚大劇場【写真提供：宝塚市観光企画課】

京の北山文化は、室町に幕府をかまえた足利義満の治世に花ひらいた。義満の邸は「花の御所」と呼ばれたが、義満は都の西北に別邸とし

て壮麗な金閣寺を造営。世阿弥を寵愛して能のパトロンとなった。中世に興った能楽は現代なら少年ミュージカルとなろうか。

### 稲野を詠んだ古歌

この幻の摂津京エリアは、古くはどんなふうには詠われていたろうか？

百人一首にある「有馬山 ゐなの笹原 風ふけば いで そよ人を忘れやはする」は、紫式部の一人娘、大式三位（999年頃から1082年頃）の歌で、現代語訳にすると（「わたしがあなを忘れる？ そんなことと有馬山（ありません）否の笹原に風吹けば そよそよとやさしい葉ずれ そよよ どうして貴方のことを忘れられましようか」となるか。「あな」は「稲野」が本当の名で、伊丹に稲野神社、池田に猪名津彦神社、箕面に為那都比古神社があることを考えると、今の阪急宝塚線から伊丹線にかけての地域を古代の人々は「いな」と呼んでいたらしく、『万葉集』にも「しなが鳥猪名野を来れば有間山夕霧立ちぬ宿は無くて」（万葉集 巻七）と詠われて、宝塚歌劇団出身の女優、有馬稲子の芸名はこの歌から採られている。

### 武庫川と猪名川

尼崎市立地域研究資料館の河野未

かたや、みずから線路を敷いた郊外都市に、室町（池田市）という分譲住宅地をつくり、宝塚・武庫河畔の地にバラダイスを築いて（阪急宝塚駅から歌劇場へいたる道は「花のみち」と呼ばれる）少女ミュージカルを創始した小林一三を「近代の足利将軍」に見立てることもできるのではなからうか。

昔のツカファンは阪急宝塚駅から武庫川の中州へ架かる橋を渡って観劇に行ったものである。梅田から電車で終点まで行き、そこからメルヘン調の橋を渡って歌劇場へ入るという行程には、異空間・非日常への旅が巧まずして演出されていた。後年の埋め立てによって中州までが地続きとなり、さらに阪急今津線が西宮から開通すると、「宝塚南口」で下車して武庫川の本流に架けられた大橋を渡る観劇プロムナードが賑わうようになる。宝塚大劇場のロビーから武庫川に面したテラスに出て幕間のひとときを水辺でたのしむ歌劇ファンも多い。

宝塚が市制となった昭和29年、初代宝塚市長と阪急グループの創始者・小林一三が新聞紙上で対談して



宮水公園（西宮市）

ここで小林は「武庫川を保津川のように観光地化したい」という腹案を述べているのだ。

上方商人の信仰あつい清荒神や中山寺といった神社仏閣に恵まれ、伝統園芸のメッカとなった宝塚は、まこと「摂津の北山」と呼ぶにふさわしい。京都には本阿弥光悦らの芸術家村があったが、ちょうど「摂津京」のその位置にあたる清荒神や売布神社の周辺には、昭和を代表する建築家の村野藤吾や仏画家の石川晴彦が住み、また日本画家の橋本関雪らも別邸を構えた。

央さんによれば、武庫川が氾濫すると低い土地に川筋が出来てくるように、猪名川も低地に向かって流れてくるから、潮流で運ばれた砂が積もって海岸の平野部が出来上がっていった。武庫川と猪名川の平野部が氾濫を繰り返し、どんどん土地が出来ていったのを表わす逸話が、大阪の住吉大社に残る武庫川の女神と猪名川の女神の争いの伝説だという。

宮を建てるため木材を猪名川で運ぼうとした住吉の大御神に惚れてしまった猪名川の女神が妻になると、武庫川の女神も名乗り出る。あとから言い寄った武庫川の女神に嫉妬した猪名川の女神が、猪名川にあった大石を武庫川に投げつけ、武庫川に生える草を全部引っこ抜いたため、猪名川には大きな石がなく、芹草が生えているだけとなったという。逆に武庫川には大きな石がたくさんあって、芹草がないのは、ゴツゴツした岩が上流にある武庫川のイメージが伝承になったものであろうか。

学者たちはこの伝承を解釈して、前妻が後妻に制裁を加える「後妻打ち」という、平安末期から鎌倉時代にかけての慣習を伝承したのではな

かろうかと言っているとか。後妻打ちとは、妻が変わったとき前妻が女性陣を携えて後妻の家へ制裁に行き、後妻も仲間を従えて返り討ちに遭わそうとする慣習である。

河野氏によると、あるいは水害の擬人化とも考えられるという。川の神様はほとんどが女神で、武庫川と猪名川の旧河道を見ていくと伊丹台地の内円部で互いに迫っているのは、猪名川から来た氾濫の流れが武庫川につよぶつつかって被害をもたらしたのかもしれない、こういう暴れ川の様子を嫉妬に狂い男性を追い求める女性の姿に仮託して言い表し、伝承していったらしい。

河野氏によれば、中央政府の氏族や渡来人が河川を開発し、治めていった歴史が伝承に組みこまれていったのではあるまいか。猪名川の流域には外国から来た集団が住み、山野や鉱山の開発に当たっていたと考えられているそうである。

武庫川と猪名川の相克を巡るくだりは、「ギャラクシー水文化の会」（2018年7月）における河野未央氏の講演録を全面的に参照した。

明智藪の再生活動を通じた街づくり



間伐作業中の様子



折れ重なった竹林



整備後の様子



明智光秀が築いたとされる明智藪と奥に福知山城

福知山環境会議  
つちだ しゅうへい  
土田 崇平

を行いました。

そのイベントの最中に、70代から

80代のご年配者の方が「小学生の頃の夏休みの思い出は藪裏（明智藪）

水泳場で泳いだこと。町内会単位で世話役の大人に引率されて泳ぎに行った。川底は小石で、足下には小魚が泳いでいた。雨が降って由良川が増水すると泳げない印の赤い旗が堤防に揚がってがっかりした」と仰っております。昭和20年代の話です。

時代の変化やコンプライアンス等の変化により川で遊ぶことが出来なくなり、外で遊ぶことより家でゲームや動画配信を見ることが当たり前になった現在では、明智藪の中から人々の声が聞こえなくなりました。こうして藪が荒れていったのであります。

3 人が集まる場所に

福知山環境会議（福知山市環境基本計画が掲げる「100年後の子どもたちに誇れる環境のまち福知山」の実現を目指して、2005年6月に発足し、市民・事業者・行政がパートナーシップを結んで構成された団体）では「福知山市を流れる由良川やその周辺の竹林を整備し豊かな自然環境を次世代の子ども達に引き継ぐことをめざし活動。また、年に一度、竹林を会場にしたイベントの開催や竹の有効活用を推進」を活動目標に2007年より現在まで明智藪の竹林整備を行っています。藪内の草刈り、竹林の間伐、林木の間伐、ゴミ拾い、そして海洋プラ調査も。荒れ果てた藪の整備は大変です。またシラサギのコロニー（巣がたくさんある場所）でもありますので、なんでもかんでも間伐して良いという訳にはいきません。

最初に筆者が参加した時の明智藪の感想は「ジュラシックパーク」並みの手付かずの自然。竹は折れ重なり、増水で流れてきたプラスチック袋が木々に絡み、草も伸び放題。藪の奥から聞こえてくるシラサギ達の鳴き声。正直、「無理だ」と思いました（笑）。

コツコツ地道に竹林整備とゴミ拾いと草刈りをしていくと、徐々に確実に綺麗になっていく様が何とも言い難い達成感があります。応援してくださいる人も手伝って、手付かずの自然を竹林散策できる程度まで整備をすることができました。本当に感謝です。

タイミングよく大河ドラマ「麒麟が来る」が決まったこともあり、明智藪も注目され、地域の人や観光で来られた人々にも多く訪れて頂けるようになり、SNSや動画投稿を見ていると、徐々に「人が集まる場所」になってきたと僥越ながら感じます。

安土桃山時代から現在に残る貴重な場所をこれからも整備し、未来の子供達に残していきたいと思えます。



竹チッパーを使って竹チップを遊歩道の舗装に使用



整備によって藪から福知山城が見えます

## 水都大阪と幻の大阪大国技館(14)

水都の会城北川プロジェクト(代表 藤井 薫)

大阪から東京両国に開催地を移し行われた令和3年春場所。コロナ感染で休場していた横綱



横綱 白鵬

白鵬が3日で休場に追い込まれ、落胆した方も多かったと思います。優勝10回と相性の良い大阪ならもっと違う展開もあったのでは?と思わざるをえません。でも何故、白鵬は大阪では強いのでしょうか?

### 白鵬を育てた「大阪の父」

平成12年、モンゴルから相撲部屋入門のため7人の若者が来日します。しかし、一番やせっぽちの少年は声がかからず、帰国することに。その前夜「どうしても日本でお相撲さんになりたい」と、大阪で世話になった撰津倉庫(株)の浅野社長に訴えます。「よっしゃ、任しとけ!」かけてくれた1本の電話が彼の運命を決めます。この少年が後の大横綱白鵬です。

「タニマチ」としてその後も応援し続けてくれた浅野社長を「大阪のお父さん」と慕った白鵬。大阪で晴れ姿を見せたいとの思いが、後の白鵬の力の源となったといえます。折しも「コロナに打ち勝つ?」オリンピックが近づくと現在、アスリートを物心両面から支えるタニマチの存在が改めて注目を集めています。今号と次号では或る人物を通じ、タニマチの起源の謎と水都大阪の隠れた一面を紹介させていただきます。

### 型破りな医者

明治22年、大阪市南区(現中央区)谷町六丁目薄 恕一という若い外科医がやってきました。



薄 恕一

「貧乏人は無料。生活できる人は薬代1日4銭。金持ちは2倍でも3倍でも払ってくれ」と公言します。いやはや型破りな!まるで黒沢映画に出てくる「赤ひげ」のようですが、

や大阪看護婦学校長を務め、私立日新商業学校(現東大阪市立日新高校)の設立等、多方面に活動を広げます。しかし、どうしたことでしょう。昭和10年12月、府議会を揺るがす脱税疑獄が発覚。当時議長であった恕一は連座し、起訴・拘留されますが、その最中の同月13日に病院が失火で全焼。翌年1月には医師会長も辞任し、恕一の人生は一瞬で暗転します。公私にわたる活躍ぶりにも関わらず、タニマチの起源として恕一の名が広く知られていないのは、或いはこのような晩年のことも関係しているのかもしれない。

### タニマチの由来の元は大国技館?

実はタニマチの由来としては、別途、谷町の別の好角家の医師や歯科医が起源との説もあります。諸説あるのは、特定個人ではなく、やはり支援者が多い「地域」が存在したことが原因と考えられます。興味深いのが「南区医師会人国記(南区医師会刊行)」という医師の人物評伝の中にある「谷六より北は相撲取りが所謂谷町と呼んだ後援者、旦那衆が多数居た」という記述です。

新世界の国技館の出資元の鉄鋼業



開業した当時の薄病院の待合室

健康保険の無い時代のこと。お金がなくて医者にかかれない人も多かったのでしょう。無論、無料診療ばかりでは経営が持ちません。恕一は病院の赤字を補おうと猛烈に仕事に取り組みます。早朝は重症患者の往診。午前8時から昼まで診療を行うと再度往診です。夕方帰った後も診療を続け、夕食は夜9時過ぎ。その後も午前2時頃まで医学書を調べ、ようやく寝ても急患があれば直ぐに飛んで行くといった毎日でした。

### 大相撲の庇護者

明治後期から大正にかけて、大阪相撲は南区難波の土橋の周辺で興行を行い、大正8年には新世界に大阪国技館をオープンさせます。寺町通りの相撲部屋に近く、無料で診てくれる谷町の恕一は、年中怪

者がいた安堂寺橋も「谷六より北」です。しかし同じ谷町でも難波や新世界に近く、当時相撲部屋が沢山あった寺町に面した「谷六より南」ならともかく、「谷六より北」では少し遠く不便です。余程裕福な人がいたのでしょうか。ここまで来て「人国記」紹介のタニマチとは、戦前でも大阪大国技館が京阪関目に完成した昭和12年以降の話ではないかと思に至りました。

東西相撲協会の合併後、旧東京方の相撲部屋も大阪場所開催時には例年大阪に宿舎を設けるようになりま

その頃、京阪電車の市内の起点は谷町北端の天満橋でした。かくして国技館や宿舎と近接することになった「谷六より北」の支援者からの「濃い歓待」は当時、東京の力士達に強烈な印象を残したに違いありません。元々は大阪力士の隠語だったタニマチが今日、全国の言葉と



薄病院外観

我が多く、金の無い幕下力士にとり、大変有難い存在だったことでしょう。更に無類の相

そうなんです!諸説ありますが、恕一が大阪相撲の力士からタニマチと呼ばれ慕われたことが元となり、スポーツや芸能等の支援者をそう呼ぶようになったと言います。現在、タニマチとは単に金離れの良いスポンサーのことと思われていますが、元々は出世上の若手力士達を愛した世話好きで情の深い大阪人のことだったのです。

### 薄 恕一の生い立ち

薄恕一は慶応2年(1886年)福岡県生まれ。大阪の吉益舎医学学校を卒業後、医術開業試験に合格。人名録には東京帝大、京都帝大、シカゴ大でも学んだと書かれています。



大阪大国技館(関目の国技館)

5月場所を休場し、7月場所に復活をかける白鵬ですが、東京オリンピックの行方と同様、視界は定まりません。一方、一時は感染者数が東京を遥かに上回り、コロナ変異株の脅威に翻弄された現在の大阪ですが、恕一の時代にも同様の感染症との苦闘の歴史がありました。水害に伴い疫病が頻発した歴史を持つ大阪ですが、意外なことに当時の感染症への切り札も川の流れを活用した水の都ならではのものです。(続きは次号で)



タニマチ関係地図

・安堂寺橋は旧安堂寺橋通・内安堂寺町を含むエリア  
・難波土橋は旧難波新川にあった橋

# 排水機場訪問記

「水が語るもの」編集パートナー 梅田 和男  
(近畿水管理・国土保全研究会)

『水が語るもの』では2020年12月発行の第21号から排水機場の役割や浸水被害軽減効果、運転管理上の課題等について排水機場の管理者、操作関係者から直接お話を伺い、読者の皆様に紹介しています。

第2回目は淀川中流左岸の寝屋川市太間町に設置されている大阪府管理の太間排水機場を訪ねました。

## 太間排水機場

太間排水機場が設置されている所とは

寝屋川市太間町に設置されている太間排水機場(写真1、図1)は、淀川左岸堤防沿いの寝屋川上流域に位置しています。当地は、『日本書紀』に記された仁徳天皇による「茨田堤」築造時の難所2箇所内の1箇所

### 操作関係者に聞く

太間排水機場長 渡辺 竜馬さん

太間排水機場の運転管理を担当されている大阪府枚方土木事務所の渡辺竜馬太間排水機場長にお話を伺いました。機場職員は渡辺場長を含め7人ですが、排水機場の運転については、事務所からの13人を加え、計20名の4班編成で実施されています。

太間排水機場の役割について教えてください。

太間排水機場は、大阪府による寝屋川流域総合治水対策の一環として寝屋川上流域の洪水を淀川へ直接放流する計画、これを分水と呼んでいますが、その中核施設として建設されました。これに加え、低平市街地の雨水排水対策も担っており、この2つの目的で運転されています。

寝屋川上流域洪水の分水とはどのようなものですか？

寝屋川流域は大部分が低平地で、排水先が大川に合流する京橋口1箇所に限られ、浸水被害が発生しやすい地理的条件になっています。昭和



### 太間排水機場の概要

排水量	135m <sup>3</sup> /秒 (15m <sup>3</sup> /秒×3台、30m <sup>3</sup> /秒×3台)
着手/竣工	昭和51年度/昭和55年度 (1期30m <sup>3</sup> /秒 (15m <sup>3</sup> /秒×2台)) H7年度 (2期105m <sup>3</sup> /秒 (15m <sup>3</sup> /秒×1台・30m <sup>3</sup> /秒×3台))
目的	①寝屋川上流域洪水の分水 ②低平市街地の雨水排水

写真1-1 淀川左岸の太間排水機場 ※大阪府パンフ写真に説明追加



図1-1 太間排水機場位置図 ※国土地理院地図に説明追加

30年代からの高度成長期に低平地の都市化が進み、寝屋川本川の洪水を軽減する放流施設が必要となりました。太間排水機場は、寝屋川上流域からの洪水を、万博関連事業として淀川から寝屋川に浄化用水を導入する目的で昭和44年に建設された寝屋川導水路を経由し、直接淀川に排水しています。これが寝屋川上流域洪水の分水です。(図1-2)

寝屋川導水路の流れは利用目的に応じて2方向に流れているということでしょうか？

浄化用水導水時の寝屋川導水路の流れは淀川から寝屋川へと流れていますが、太間排水機場運転時はその逆の流れとなります。

低平市街地の浸水対策はどのように行われていますか？

寝屋川上流域の内、淀川に近い地域は元々雨水が河川に排水されにく

い低湿地でしたが、排水施設整備が十分に行われないうまま市街化が進みました。そこでこの地域の内、寝屋川導水路の北側の地域の雨水を寝屋川導水路に導き、排水機場により淀川に排水することにしました。

太間排水機場の運転と分水の仕方について教えてください。

寝屋川上流域の豪雨により市街地の水路が溢れそうになると、地元寝屋川市からの要請を受け、

市街地の雨水を寝屋川導水路に取り込み、淀川に排水するための運転を行います。さらに、寝屋川本川の水位が上昇すると、寝屋川本川に設置された桜木水門(写真1-2)を閉鎖して寝屋川上流域を下流域から分離し、上流からの洪水は全て寝屋川導水路(写真1-3)を経て太間排水機場から淀川に排水します。

排水機場運転の効果はどうでしょうか？

太間排水機場の運転により、市街化した上流低平地の浸水被害は明らかに軽減

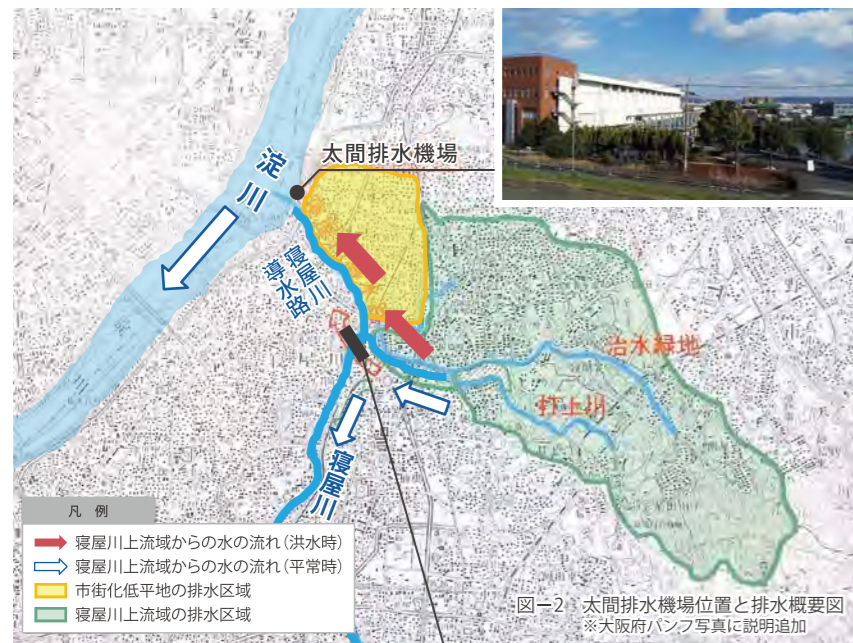


図1-2 太間排水機場位置と排水概要図 ※大阪府パンフ写真に説明追加



写真1-3 寝屋川導水路(前方は太間排水機場)



写真1-2 寝屋川本川に設置された桜木水門

### interview



太間排水機場長 渡辺 竜馬さん

排水機場運転管理で苦勞されていること、抱負などをお願いします。

市街地の雨水排水は、局所的短時間集中豪雨の影響が大きいため、休日・夜間を問わず迅速な対応が求められます。ポンプ操作の遅れが許されないうえ、4班20人の体制により、毎月1回実機で実践さながらの模擬運転を行うなどメンバーのスキルアップに取り組んでいます。はじめての排水機場勤務で、ミスが許されないという緊張感がありますが、地域を守っていることを実感しています。